

民主主義をつくるお金

○ 編 著: ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF)

<https://socialjustice.jp/>

○ 発 行: ハンズオン! 埼玉 出版部

○ 発行日: 2015 年 10 月 31 日

○ 定 価: 本体 1000 円+税

○ サイズ:(縦×横×厚さ)約 21×14.5×1cm
148 ページ

○ 登録情報: ISBN978-4-9906791-2-5



[…》ご購入は、購入フォームから](#)

「NPO法人 まちぽっと」の助成事業団体のひとつである「ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)」が、『民主主義をつくるお金』と題する本を企画し、出版する運びとなりました。

世の中を変えたいと思いつつも具体的にどうすればよいのか分からず、一歩が踏み出せないでいる方々に、誰でもできる社会提案・社会対話、そして実践のための案内書です。見過ごされがちな声でも、一人ひとりの想いや苦しみを、社会的課題としてすくいあげ、社会全体で解決していこうとする潮流が、資金も注目も集まりにくくても確実にあります。そうした社会的課題に向き合い、解決策を提案する市民の活動(アドボカシー活動)を支えるSJFの理念・メッセージ・プロセスが、この一冊に収められています。

＝本文より抜粋＝

- 「一人ひとりが責任を持って参加し、互いを尊重しあい、失敗も経験として共有し、苦しくとも笑顔で励ましあいながら活動しているところに希望を感じ、正義というのは目標や結果ではなく、その民主的なプロセスのなかにこそあるのだと実感しました」(「あしがき」より)
- 「SJF は助成金の多寡よりも、まず、その理念が市民や人びとを支える力を持っていることが大事であり、また魅力なのだと思っています。民主主義を支える、社会を変える、そのSJFの理念・メッセージに、わたしたちは支えられ、自信を得て活動を展開できました」(「社会を変える道を開く[助成団体から]」より)

- 「人間が生きていくという本来の意味にこたえられるような社会の仕組みをつくっていけるよう努力を続けます」（「アドボカシーカフェから」 より）
- 「建設的対話を通し人権に対して本当の理解が進むには『公共財としての言葉のバリアフリー』が不可欠だろう。誤解や格差を生まないためにも、新しい言葉のデザインをしながら建設的対話を進め、社会変革を実現させたいものだ」と心から思う」（「コラム」 より）
- 「言葉を失うような経験に根ざしながらも、それらを社会で共有し解決していくために、対話しえる言葉となって発せられるまでの道程を、私は想う。
自分にも当てはまる事に気づかされ、新しい世界へとまなざしが開かれる。漠たる思いを形にしえないまま、あるいは気づかないまま生きてきたことが、こんなふうには社会的課題として広がりをもち合意形成にむけて歩まれていることに、私は射抜かれる」（「コラム」 より）

内容概略

- 「社会を変える」を支える
 - ・アドボカシーを支えるお金
 - 「課題を、ともに考える」助成
- 「対話の場づくり」をすすめる
 - 「両輪」+αの成果
 - ・社会を変える道を開く
 - ・対話の場をつくる
- あらためて「ソーシャル・ジャスティス」とは？